

# こども一人ひとりに本気で寄り添います

## 子どもへの総合的な支援の拠点 児童相談所 (明石こどもセンター)



全体に目配りできるよう市の中央部に立地

自治体として9年ぶり  
関西の中核市で  
初の開設



こどもの  
声を  
聞きます  
こどもの  
味方で  
あり続けます  
こどもの  
思いを  
かなえます

2019年、明石市は中核市として3か所目、関西では初めてとなる児童相談所「明石こどもセンター」を設置しました。身近な子育て相談から支援が必要な子どもの発見、対応、家庭復帰後の地域支援まで総合的で一貫したサポートを行っています。

## 1 JR 駅前の一等地に開設

利便性の良い市内中央部の  
JR 大久保駅前に開設

近隣の反対もなく、  
市議会も  
全会一致で賛同

全国初 常勤弁護士も複数配置



児相の法的権限を迅速・的確に運用するために不可欠な存在。日々のケースワークに携わるために常勤化しています。

子育て支援センター、こども図書室、里親センターも併設

## 2 幅広い専門職を配置

職員数は国基準より手厚く

開設時、職員数は国基準の2倍以上

児童福祉司・児童心理司・保健師・  
弁護士(常勤)・児童指導員・  
医師・教職員・元警察官・看護師・  
家庭児童相談員などを配置

量も質も!

一人ひとりの状況に  
応じて細かく対応しています。

全国から  
職員を募集



## 3 通学も可能に

全国唯一

一時保護中も  
子どもの思いを大切に

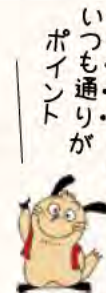


小・中学校への通学も可能に

明石市の一時保護所では、いつもと同じ学校へ行きたいという子どもの思いがあれば、それを大切にします。子どもの学ぶ権利を保障し、できるだけいつも通りの生活が続けられるようにします。

さらに 親や友人との面会を可能に

面会についても、まずは子どもの声を聞き、子どもの思いを尊重して、親や友人と会えるようにしています。



## 4 明石から 児相改革

毅然と一時保護が行えるように

全国初 2021年開始 こどものための第三者委員会

一時保護の妥当性を審査する第三者委員会(弁護士・元裁判官・専門有識者などで構成)を設置。一時保護の後、すみやかに第三者が必要性をチェックすることで、毅然と保護が行える仕組みを導入しています。

国の動き! → 一時保護に司法審査導入へ

## 子どもに寄り添うのは“人” 人材育成

全国2か所目  
全国の児童虐待対応職員の研修拠点  
西日本こども研修センターあかし

全国の子ども虐待防止に関わる関係機関などで主に指導的立場にあたる職員を対象に高度専門的な研修を実施しています。

オンライン研修も

北海道から沖縄まで  
全国の職員が対象



コロナ禍では、オンライン研修を展開。今年度は、全国7ブロックに向いて研修を行う予定です。

人材育成は、喫緊の課題です。福岡市児童相談所での所長業務の経験を活かして、最前線で子どもと家族の支援に携わる方々に対し、子どもの権利擁護を基本として専門的な研修を実施しています。

明石で人を育て、ノウハウを全国に広げていきます。



ふじばやし たくし  
藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし センター長)  
精神科医師を経て、福岡市児相所長を18年間務める。厚労省社会保障審議会委員として児相改革を推し進めてきた。明石市在住。

## こども食堂 地域の気づきの拠点 あかし版こども食堂

こどもの総合支援に  
つながる気づきの場

地域のあらゆる世代が、気軽に集まり交流することで、支援が必要な子どものサインにいち早く気づく重要な役割を担っています。

学習支援も 地域の人との遊びや学習を通じて交流しています。



歩いて行ける!

全小学校区で実施、  
だから安心

こども食堂は全 28 小学校区 46 か所に。子どもたちが歩いて行ける小学校区内にあるので通いやすく、地域の人ともすぐ顔見知り。

2016年  
11か所

全28校区  
2022年  
46か所

広がる

栄養と愛情のこもったお弁当を  
テイクアウトや宅配も

コロナ禍だからこそ、子どもたちの見守りが大切。こども食堂の活動は形を変えて継続。



1万2千食以上  
を提供  
(2020年度)



コロナ禍でも  
子どもを  
食から支える

## まちのみんなで

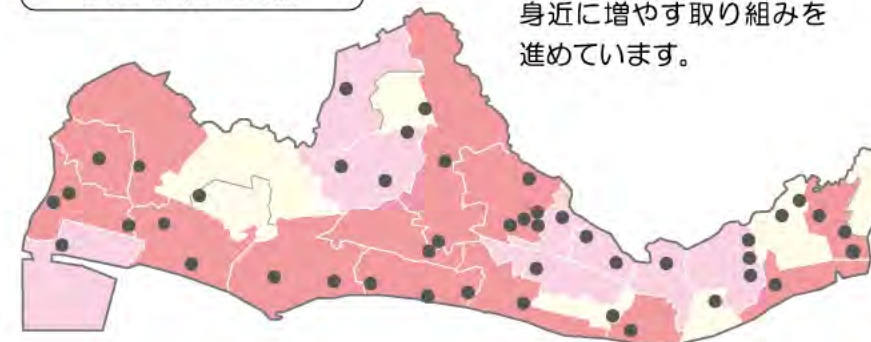
## 子どもを見守る

あかし  
里親100%  
プロジェクト  
21 小学校区 52 家庭が里親登録

すべての子どもに家庭のぬくもりを /  
あかし里親100%プロジェクト

●こども食堂開設場所  
里親登録している家庭数  
■2家庭以上 ■1家庭  
(2022年4月1日時点)

すべての子どもたちが、家庭での愛情やぬくもりを感じながら育つことができるよう、里親家庭を身近に増やす取り組みを進めています。



広がっています  
市内には52家庭の里親さんがいます  
(2022年4月1日時点)

5年間で29家庭  
増えました



里親  
7年目  
いつでも帰れる家を  
増やしてあげたい

ショートステイ里親への  
独自の支援も

3日程度、親元を離れる必要がある子どもを専門に預かるショートステイ里親家庭に、市独自の支援を行っています。

QUOカード  
1万円(初回)

子育て用品の  
無料レンタル 専門スタッフ  
による相談窓口

あかし里親センター

2019年にあかし里親センターを開業。あらゆる相談を受け付けています。

